

[相談支援専門員の土台となるもの]

価値

- 「本人中心」 本人の思いや願いに寄り添い、あたり前の生活を支える本人中心の支援を行う
- 「社会モデル」 障害を社会の状況・環境との関係の中で理解し、とらえることができる
- 「地域に根ざす」 フィールドとする東京都及び区市町村の地域性の把握と、地域福祉の向上に努め続けることができる
- 「権利擁護」 人としての尊厳と人権の尊重
- 「エンパワメント」 本人が持っている力を最大限引き出す

知識

- ・東京における障害福祉の歴史
- ・地域性とその資源の理解
- ・ご本人の理解、障害の理解
- ・ケアマネジメントプロセスの基本的理解
- ・法制度や福祉サービスの知識

技術

- ① 本人と信頼関係を構築する力
 - ② 基本的な面接技術に習熟している
 - ③ ニーズを的確に捉えることのできるアセスメント力
 - ④ わかりやすい計画を立案できる
 - ⑤ サービス提供者や行政等と協働する力(交渉・調整)
 - ⑥ 個別支援で得た地域課題を、協議会等のネットワークを通じて積極的に発信・共有できる
- 「地域での人材育成の担い手となる」
- ⑦ まだ出会っていない、支援を必要としている人々の存在を想像できる
 - ⑧ ファシリテーション力

参考:「障害者(児)ケアマネジメントの過程における相談支援専門員等に求められる視点、行動(28.05.11)」(東京都自立支援協議会)

東京都で活動する相談支援専門員は…

- 1) 一人ひとりの「暮らし」を知るために、障害当事者の声をきちんと聴くことができる
- 2) 当事者が望む「暮らし」に対する思いや、将来に向けた願いを聴くことができる
- 3) 当事者とともにあらゆる社会資源を活用し、創り出すことができる
- 4) 障害者ケアマネジメントの理念を具現化する役割を持つ
- 5) 当事者自身が力を発揮できるよう、エンパワメントを支援することができる

[相談支援と地域]

[東京都]

強み	課題
<p>あなたが活動している東京都の強みと課題を書き込みましょう</p>	
	<p>(例えば…)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者の都外施設問題 ・精神科病院の地域偏在 ・中途障害者の社会復帰支援不足 ・緊急一時保護・ショートステイの不足 <p style="text-align: right;">等々</p>

**[第5期東京都自立支援協議会のテーマ]
都と地域の協議会活動の双方向性を強化し、
東京都における地域課題を考える**

強み	課題
<p>あなたが活動している地域の強みと課題を書き込みましょう</p>	

[あなたが働く地域]

**[相談支援専門員のエンパワメントプロセス]
～各研修の目的と獲得目標～**

- 専門コース別研修
- 主任相談支援専門員研修

目的 = 中核的役割を担う専門職の育成

獲得目標 = 相談支援専門員に必要な知識、地域の人材育成及び運営管理における相談支援のスキル

- 現任研修

目的 = 相談支援のスキルアップ、チームアプローチ・コミュニティソーシャルワークのスキル獲得

獲得目標 = 地域デザインにおける相談支援のスキル

- 初任者研修

目的 = 基本相談支援を基盤とした計画相談支援を実施できる知識と技術の獲得

獲得目標 = 本人主体、ソーシャルワーカーとしての相談支援専門員の知識・価値・倫理・スキルの理解・実務の理解と一連の業務が出来るスキルの獲得

参考:相談支援の質の向上に向けた検討会(厚生労働省)
相談支援従事者研修のプログラム開発と評価に関する研究